

## 【目次】

1. 黒沢博道氏を招き第11回政治・社会運動史研究会を開く、9月6日！
2. 友愛労働歴史館の8月・9月の見学団体、資料寄贈者！
3. 働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開催される、9月8日！
4. 連載「日本労働会館物語」第61回—教育者・牧師・政治家の内ヶ崎作三郎 その1—

### 1. 黒沢博道氏を招き第11回政治・社会運動史研究会を開く、9月6日！

友愛労働歴史館は9月6日（火）午後、第11回政治・社会運動史研究会を開催しました。同研究会は当面、共通テーマ「民社党時代を語る」で開催しています。



第11回研究会は民社党本部や富士社会教育センターで活躍した黒沢博道氏を報告者に同日15:00～17:00の間、「民社党の青年運動と党員教育」をテーマに開催しました。黒沢氏は①民社党への入党まで、②民社党と青年学生運動、③民社党青年隊結成とその成果、④民社党の人材育成と党員教育、⑤民社党のリーダーと後継者育成などについて報告を行い、その後に質疑・意見交換を行いました（詳細は略）。

黒沢博道氏は1935（昭和10）年、福島県出身。1960（昭和35）年に神奈川大学法経学部を卒業し、1961年に中央大学法学専攻科を修了。1962年、民社党本部に入り、青年隊中央本部事務局局長、組織部長、教宣部長を歴任しています。1981（昭和56）年、（財）富士社会教育センター常務理事に就任。以後、同財団教育総合研究所事務局局長、副理事長、富士政治大学校副学長、神奈川大学法学研究所客員研究員等を務めています。現在、民社OB会会長。著書に、『選挙参謀読本』、『21世紀の改革者』（共著）、『民社党の光と影』（共著）などがあります。

### 2. 友愛労働歴史館の8月・9月の見学団体、資料寄贈者！

8月・9月は夏休み、お盆休み、産別大会などがあり、例年、友愛労働歴史館の見学者が減少する時期。それでもこの時期、友愛会創立を記念する会・JCM組織委員会・UAゼンセン・住友重機械労組・ANA労働組合・東急自動車学校労組・退職者連合・厚生労働省インターシップ・厚生労働省労使関係参事官室・国土交通省職員組合などの皆さんが来館され、見学されました。

また、この時期、複数の元民社学同メンバーから民主社会主義学生同盟の関連資料や民主社会主義思想・哲学などの書籍資料の寄贈を受けました。

### 3. 働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開催される、9月8日！

NPO法人・働く文化ネットの第31回労働映画鑑賞会（—生きる希望としての学び—上映作品『こんばんは』が、9月8日（木）18:30～から連合会館会議室で開催されました。

今回の映画『こんばんは』（2003年・92分。労働映画百選No.79）は、「東京・墨田区立文花中学校の夜間学級で学ぶ17歳から92歳までの生徒たち、そして先生たちの学びの実践の記録映画」

で、山田洋次監督の『学校』（1993年）の流れにあるドキュメンタリー映画です。

今回の労働映画鑑賞会は、ドヤ街「横浜・寿町」に息づく多様な人生に向合ったドキュメンタリー映画「どっこい！人間節—寿町・自由労働者の街」（10月13日18:30～、連合会館）です。

#### 4. 連載「日本労働会館物語」第61回—教育者・牧師・政治家の内ヶ崎作三郎 その1—

今回の「日本労働会館物語」は、明治・大正・昭和（戦前）に教育者・牧師・政治家として活躍した内ヶ崎作三郎（1877～1947）です。彼は友愛会評議員、教育者（早稲田大学教授）、牧師（統一基督教弘道会・ユニテリアン教会、自由基督教会）、政治家（衆議院議員、立憲民政党幹事長など）として知られています。2017年は内ヶ崎作三郎の生誕140年、没後70年。友愛労働歴史館はこれを記念し、企画展「内ヶ崎作三郎—教育者・牧師・政治家の生涯—」（2017.01.06～06.30）を開催いたします。



内ヶ崎作三郎は1877（明治10）年4月3日、宮城県黒川郡富谷町生まれ。1947（昭和22）年2月4日に病のため69歳で亡くなっています。

内ヶ崎は1891（明治24）年、仙台の第二高等学校を卒業（在校中、栗原基に誘われアニー・S・ブゼルのバイブル教室で吉野作造・小山東助らと親交）。その後、1898（明治31）年に東京帝国大学英文科に入学（東大基督教青年会の寮に入る）し、海老名弾正の本郷教会に出席しています。1901（明治34年）

7月に卒業し、翌年3月に私立東京専門学校（後の早稲田大学）の講師に就任しています。

1908（明治41）年10月、早大講師のまま英国オックスフォードのマンチェスター・カレッジ（ユニテリアンが運営）に宗教学研究のため約3年間留学（永井柳太郎に続き二人目）。1911（明治44）年に帰国し、早稲田大学教授、統一基督教弘道会（ユニテリアン教会）の牧師に就任しています。

内ヶ崎作三郎の牧師就任の時、郷里の後輩・鈴木文治（友愛会創立者、東京帝国大学卒業）が、統一基督教弘道会に駆けつけています。そして翌1912（大正元）年、統一基督教弘道会職員の鈴木文治は友愛会を創立。内ヶ崎はその評議員に就任し、友愛会を支えています。また、内ヶ崎作三郎は1915（大正4）年、東京・神田に自由基督教会を設立し、牧師に就任します。

1924（大正13）年、内ヶ崎は宮城県から衆議院議員に当選し、政治家に転身。以後、当選7回。立憲民政党幹事長などを歴任しています。1947（昭和22）年に死去。享年69歳。1956（昭和31）年9月、郷里の富谷町の富谷小学校に内ヶ崎作三郎の胸像と記念碑が建立されています。

内ヶ崎作三郎の主な著作に『アブラハム・リンコルン』、『英国より祖国へ』、『近代人の信仰』、『人生日訓』、『ロイド・ジョージ』などがあります。

---

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

---



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F Tel050-3473-5325

Eメール [yuairodokishikan@rodokaikan.org](mailto:yuairodokishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairodokishikan.com>

---

惟一館から122年、友愛会から104年

---